

平成23年第2回臨時議会（あいさつ）

提案理由を述べます前に、お許しをいただき一言ごあいさつを申し上げさせていただきますと思います。

5月22日に市長に就任して間もないわけですが、市の職員としてではなく、市長という立場で市政を取り巻く厳しい現状というのを改めて認識させていただいているところでございます。

これから先、市民の皆様、そして議員の皆様と対話をさせていただき、そのご意見をしっかりと受け止めて、職員一丸となって、そしてその先頭に立って、白井市民のためということを第一にまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

どうか、議員の皆様方におかれましても、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

なお、市政運営に係る私の所信につきましては、今月16日に招集を予定しております平成23年第2回議会定例会におきまして述べさせていただきます予定をしているところでございます。

さて、去る3月11日に発生いたしました東日本大震災では、大変多くの生命・財産が失われました。亡くなられた方が1万5千人を超え、行方不明の方は8千人を超えております。そして避難をされている方は、未だ10万人を超えている状況にあります。

犠牲になられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々には心よりお見舞いを申し上げます次第でございます。

また、東京電力福島第一原子力発電所に係る放射能問題は、被災地から約200キロメートル離れています、ここ千葉県でも水道水、あるいは農産物などに影響を及ぼしているところがございます。

このようなことから昨日の6月2日には、印旛郡市の7市2町の首長の連名により、市民の不安を一日も早く解消するため万全の対策を早急に講じるよう「東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う要望書」を千葉県知事に提出しました。

具体的な要望内容につきましては、放射線モニタリングポストを増設し、測定値の公表を行うこと。印旛郡市の市町域において統一した測定方法により測定し、結果を公表すること。子どもたちの安全・安心な生活環境を確保するため、保育園、幼稚園、学校及び公園等の土壌の放射線量を測定し、公表するとともに対処方法を指導する体制を構築することなど、7項目でございます。

先日、千葉県が東葛地域で実施した放射能の測定値が、本日公表されておりますが、同様の測定が9日に、白井市内の2ポイントでも行われる予定でございます。

市といたしましては、消防組合が国から貸与されています簡易な測定機を活用し、千葉県と一緒に測定するとともに、9日以降も定期的に測定し、ホームページなどで市民の皆様にお知らせをしてみたいと考えております。

また、市民の皆様の安全・安心を第一に心掛けて対応するため、放射能測定機の購入を手配しておりますので、体制を整え、納入次第、測定してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いするところでございます。